

株式のお手続きに関するお知らせ



Q. 単元未満株式の買増・買取制度とは何ですか？

A. 当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としているため、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することはできません。そのため、単元に満たない株式を当社に対して買増請求(買い増して1単元(100株)にする)および買取請求(売却する)することができる制度のことです。**証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。**

Q. 特別口座から証券会社等の口座への振替について教えてください

A. 特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式の当社への買増・買取請求を除く)ので、証券会社取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き(振替申請)をお勧めします。詳しくは、当社特別口座管理機関みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。

株式のお手続きに関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ **0120-288-324** [平日9:00~17:00]

会社概要

■ 会社概要 / 株式の現況 (平成27年3月31日現在)

名称(商号) JFE(ジェイ エフ イー)ホールディングス株式会社
[英文名称: JFE Holdings, Inc.]
設立 平成14年9月27日
資本金 1,471億円

発行可能株式総数 2,298,000,000株
発行済株式総数 614,438,399株
株主数 245,411名

■ 株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月に開催
定時株主総会および
剰余金の配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人および
特別口座管理機関 〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
公告の方法 電子公告
【アドレス】 <http://www.jfe-holdings.co.jp/>

■ 経営体制 (平成27年6月25日現在)

取締役
代表取締役社長 林 田 英 治
代表取締役 柿 木 厚 司
代表取締役 岡 田 伸 一
取締役(社外) 前 田 正 史
取締役(社外) 吉 田 政 雄

監査役
監査役(常勤) 笹 本 前 雄
監査役(常勤) 黒 川 康
監査役(社外) 伊 丹 敬 之
監査役(社外) 大 八 木 成 男

執行役員
社 長 林 田 英 治 CEO(最高経営責任者)
副 社 長 岡 田 伸 一 総務部、IR部、財務部の統括
専 務 寺 畑 雅 史 企画部の担当
常 務 大 木 哲 夫 総務部の担当
IR部、財務部の担当

JFE ホールディングス 株式会社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
ホームページアドレス <http://www.jfe-holdings.co.jp/>



JFE

JFEグループは、
常に世界最高の技術をもって
社会に貢献します。

株主の皆様へ

第13期

平成26年4月1日
～
平成27年3月31日

JFE ホールディングス 株式会社

JFE Group





代表取締役社長 (CEO)
林田 英治

平成26年度の業績概要について

平成26年度のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響があったものの、企業業績の改善や雇用・所得環境の改善傾向が続くなど全体としては緩やかな回復基調となりました。一方、輸出環境は、円安の影響による改善はあるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速傾向や、一部地域における地政学的リスク等もあり、世界経済は不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、鉄鋼事業は、為替レートの影響もあり、売上高は前期に比べ増収となりました。経常利益は、原料価格の下落に加え、収益改善に向けた継続した取り組み等により、1,885億円と増益となりました。

エンジニアリング事業は、環境・エネルギーおよびインフラ構築プロジェクトを対象に積極的な営業活動を展開しました。その結果、売上高は前期に比べ大幅に増加し、経常利益は180億円となりました。また、今後の売上の基礎となる受注高については、過去最高となる4,595億円となりました。

商社事業は、国内では提案型営業活動、海外では従来の輸出取引に加え、米国・タイ等の各地固有のビジネスを積極的に展開しました。その結果、増収・増益となり、経常利益は246億円となりました。

以上の結果、グループ全体では売上高は3兆8,503億円、経常利益は2,310億円、当期純利益は1,393億円となり、前期に比べ増収・増益となりました。なお、当期末の配当は、当期純利益の水準を踏まえ、1株当たり40円(年間では中間配当20円とあわせて60円)とさせていただきます。

株主の皆様には、平素より温かいご支援・ご理解を賜り、心から御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました。JFEグループは平成14年の創設以来「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念を掲げ、企業としての持続的な成長を図り、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーにとっての企業価値向上に努めてまいりました。

本年4月に当社は「JFEグループ 第5次中期経営計画」を発表いたしました。国内では国土強靱化政策や東京オリンピック・パラリンピックへの対応など底堅い需要が見込まれ、海外でも新興国を中心とした社会インフラ、環境対応ニーズの拡大等が期待されます。一方、少子高齢化の進展、資源価格や為替の大幅な変動、政治・経済情勢の変化等、様々な環境変動も予想され、これらへの的確な状況判断と迅速な対応が求められています。

JFEグループはこうした事業環境に、「第5次中期経営計画」において、「技術優位性」・「多様な人材力」・「グループの総合力」を高めることによって対応し、引き続き持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

第5次中期経営計画について

第4次中期経営計画の最終年度である平成26年度の連結売上高は3兆8,503億円、売上高経常利益率(ROS)は6.0%となりました。事業ポートフォリオの見直し、コスト削減と国内製造基盤整備、海外プロジェクトの拡大等、企業体質の強化に取り組み、収益面も着実に向上させることができました。しかしながら、特に鉄鋼事業においては、世界的な供給過剰が進行し、海外の市場環境は想定以上に厳しいものとなりました。このような環境のもと、コスト削減を積み上げるなど自助努力を行いました。老朽化に伴う設備の生産性低下による数量減と、それに伴うコストアップの影響等により、第4次中期経営計画の目標としていた連結売上高4兆円、ROS10%には届きませんでした。

中長期的な視点で国内製造基盤の整備を進めるなど、収益を着実にあげていく体制を整えることができたと考えておりますが、目標として掲げた数字を達成できなかったことを率直に反省し、第5次中期経営計画における具体的な取り組みに反映させる必要があると考えています。

▶ 第5次中期経営計画の主な取り組み

- ① 国内収益基盤の強化
- ② 技術優位性による企業価値向上
- ③ 海外事業の収益拡大
- ④ 多様な人材の確保と育成
- ⑤ 持続的な成長を支える企業体質強化

鉄鋼事業は、製造実力の向上に一層磨きをかけ、「常に新たな価値を創造し、お客様とともに成長するグローバル鉄鋼サプライヤー」を目指します。お客様志向で国内・海外に販売を展開し、JFEブランドの浸透・拡大を図るとともに収益の拡大に取り組みます。収益目標として、平成29年度に売上高経常利益率(ROS)10%を目指します。

具体的な施策として国内製造基盤のさらなる強化を行い、安定製造と高級鋼への品種構成の改善を推進し継続的なコスト削減を図ります。また、最新のICT(情報通信技術)を活用、製鉄所システムの刷新による業務改革にも着手し、世界トップクラスの製造実力の維持と向上を目指します。

次に、お客様のニーズを把握、最先端技術・革新的な製造プロセスを活用した新商品開発により、販売量を拡大します。また、プロセス技術の開発等により、コスト削減や製造実力の向上を図ります。これらの技術開発を強化・推進するため、研究開発費を10%程度、研究員数を7%程度拡充します。

さらに、商品開発・販売機能の一体化とグループ会社との連携を強化し、お客様にとって魅力あるサービス価値を継続的に提供します。

また、これまで進めてきた海外プロジェクト投資からの収益拡大に取り組むとともに、技術優位性に基づき、自動車、エネルギーをはじめとする重点分野での事業展開を図ります。

そして、人材育成・技能伝承を重視した施策をJFEスチール・グループ会社・協力会社の区分なく実施し、技能の伝承にとどまらず、多様な人材の活用やIT化の推進等により、技術力・現場力の確実な向上に取り組めます。

■ 連結財務ハイライト

エンジニアリング事業は、国内の需要を最大限捕捉するとともに、海外ではごみ焼却炉・水処理プラント・鋼構造等、JFEエンジニアリングが優位性を持つ、都市インフラ・環境エネルギー分野を中心にプレゼンスを一段と高め、事業規模の拡大を図ります。

収益目標としては、平成29年度で連結売上高5,000億円、連結経常利益300億円を目指します。海外事業の拡大、多様な発電プラントによる電力創生、提案型の一貫サービスの提供、新商品の開発と市場投入に取り組み、業容の拡大と収益力の強化を図ります。

商社事業は、グループの中核商社として一層の機能強化を進め、お客様志向により、業容・収益を拡大し、平成29年度で連結経常利益300億円を目指します。新規マーケットの開拓や現地調達化等に対応した地域戦略の強化により鋼材販売量の拡大を図るとともに、在庫・加工・リテール販売等の機能を戦略的に組み合わせることにより、サプライチェーン全体の価値を向上させる提案を行っていきます。海外投資も既に実施した投資案件の収益貢献度を高めるとともに、JFE商事グループとしてのプレゼンスを強化するための投資を継続していきます。

このような各事業における取り組みを着実に実行することで、グループ全体の持続的な利益成長を図り、資本効率の向上と財務健全性の両立を実現させたいと考えています。財務目標として、自己資本利益率(ROE)10%超、国際格付A格相当の負債資本倍率(D/Eレシオ)50%程度を目指します。

▶ 第5次中期経営計画(目標)

鉄鋼事業	
売上高経常利益率(ROS).....	10%
エンジニアリング事業	
売上高.....	5,000億円
経常利益.....	300億円
商社事業	
経常利益.....	300億円
財務目標	
自己資本利益率(ROE).....	10%超
国際格付.....	A格相当(D/Eレシオ 50%程度)

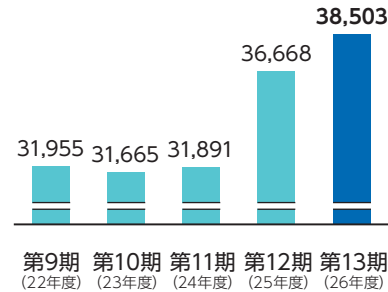
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、これまで25%程度としていた配当性向を第5次中期経営計画では25~30%程度に高めていきたいと考えています。

JFEグループは、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーの皆様と長期的な信頼関係を築きながら、これからも共に歩んでいきたいと考えております。引き続き当社グループに一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月
代表取締役社長 林田 英治

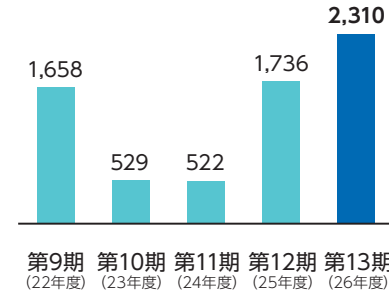
売上高

(単位:億円)



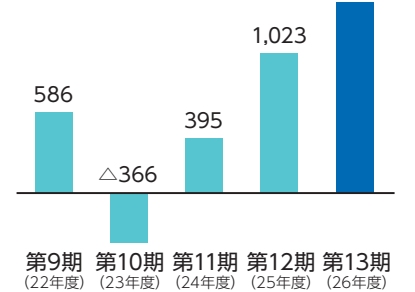
経常利益

(単位:億円)



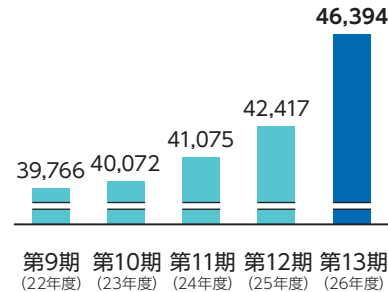
当期純利益

(単位:億円)



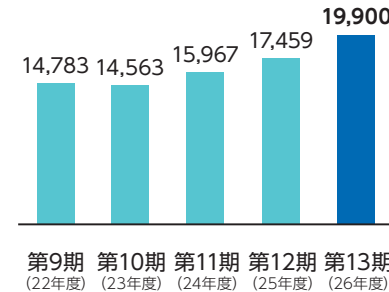
総資産

(単位:億円)



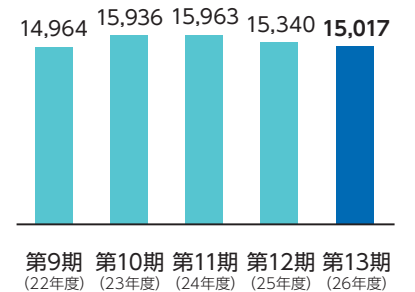
純資産

(単位:億円)



借入金・社債等残高

(単位:億円)



財務指標

ROS ^{※1}	ROA ^{※2}	ROE ^{※3}	自己資本比率	D/Eレシオ(格付ベース) ^{※4}
6.0%	5.5%	7.7%	41.8%	59.0%

※1 ROS=経常利益/売上高

※2 ROA=(経常利益+支払利息)/総資産

※3 ROE=当期純利益/自己資本

※4 D/Eレシオ(格付ベース)=借入金・社債等残高/自己資本(格付評価上資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関による評価により、75%を資本とみなした場合)

鉄鋼事業

▶▶▶ Steel Business

JFEスチール株式会社

- 粗鋼生産量 3,104万t
- 売上高 2兆8,738億円
- 経常利益 1,885億円



TOPICS 01 アラブ首長国連邦で パイプライン用大径溶接鋼管合併会社を設立

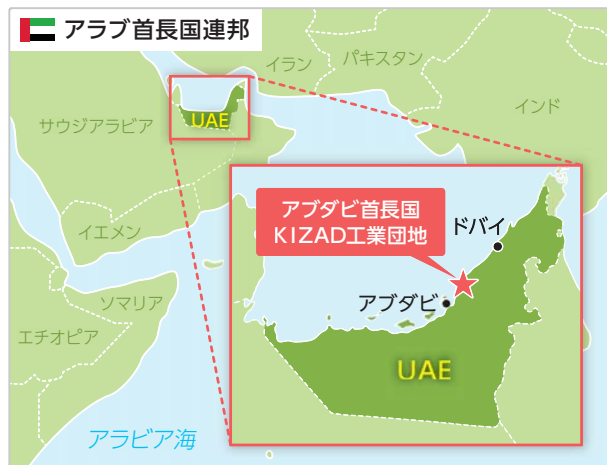
JFEスチール(株)は、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)とアラブ首長国連邦アブダビ首長国100%出資の投資事業会社SENAAT社と共に、エネルギー産業向けを中心とした大径溶接鋼管の製造および販売を行う合併会社をアブダビに設立しました。

中近東は世界屈指の原油および天然ガスの生産地域で、そのコスト競争力と埋蔵量において世界トップクラスを誇ります。今後も堅調な開発・生産が予想され、その輸送に使用されるパイプライン用の、高品質な鋼管の需要も安定的に推移することが見込まれます。

JFEスチール(株)の技術力、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)の販売力、SENAAT社のアブダビにおけるプレゼンスを活かした本事業により、高品質な鋼管を現地で生産・販売し、同地域のエネルギー産業のニーズに応えてまいります。



社名: AL GHARBIA PIPE COMPANY
 営業生産開始: 平成30年10月(予定)
 投資額: 約300百万米ドル
 能力: 約24万トン/年
 従業員数: 約370名(予定)



TOPICS 02

西日本製鉄所(福山地区)第3製鋼工場3号転炉稼働

JFEスチール(株)は、昨年12月より西日本製鉄所(福山地区)第3製鋼工場3号転炉を稼働させ、同転炉を活用した最新の溶銑予備処理プロセスを導入しました。溶銑予備処理とは、高炉から出銑された溶銑に含まれるケイ素やリンなどの不純物をあらかじめ除去するプロセスです。従来の工程では多量の石灰を添加する必要がありましたが、今回導入する新プロセスでは、新転炉の活用により石灰使用量を大幅に削減することが可能となります。今後も積極的な技術開発により、さらなる省資源・省エネルギー化を推進してまいります。

なお、本件は経済産業省の平成24年度補正予算における「円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業」の補助金による助成を受けております。



導入設備: ①転炉 330トン/チャージ 1基
 ②排ガス処理設備
 稼働時期: 平成26年12月
 投資額: 約200億円

TOPICS 03

厚鋼板の強冷却設備(Super-CR)が 第12回新機械振興賞の経済産業大臣賞を受賞

JFEスチール(株)は、「圧延と連動した厚鋼板の均一強冷却設備(Super-Controlled Rolling 以下、Super-CR)」の功績により、第12回新機械振興賞の経済産業大臣賞を受賞しました。同賞受賞は第11回の会長賞に続き2年連続4回目となりました。



新機械振興賞

優れた機械工業技術の開発や実用化により、製品の改善や生産の合理化に顕著な業績をあげた企業や研究者を表彰する制度。

② 厚板ハイテン材とは

強度と優れた靱性を有する厚鋼板で、造船や建材など多様な用途で広く使われています。



エンジニアリング事業

▶▶ Engineering Business

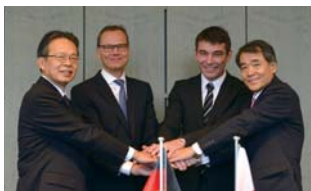
JFEエンジニアリング株式会社

■ 売上高 …………… 3,673億円

■ 経常利益 …………… 180億円

TOPICS 01 独スタンダードケッセル・パワーシステムズHD社を買収

JFEエンジニアリング(株)はドイツのプラントエンジニアリング企業であるスタンダードケッセル・バウムガルテグループを保有する持株会社スタンダードケッセル・パワーシステムズHD社を買収しました。世界各地で廃棄物発電プラントやバイオマス発電プラントのニーズが高まるなか、幅広い燃料に対応し、高度な燃焼技術に基づいた高効率の発電プラントの実績を多数有する同グループがわり、JFEエンジニアリング(株)は事業のグローバル化を一層加速し、最先端技術を提供してまいります。



TOPICS 02 福島県の災害廃棄物焼却・減容化処理を開始

JFEエンジニアリング(株)は、福島県下で災害廃棄物(または除染廃棄物)の焼却・減容化処理業務を4件受託しました。今回受託した業務は、これらの廃棄物を焼却処理するために、地域内に仮設焼却炉を設計・建設し、運転管理までを一括して行うものです。4カ所すべての処理を平成31年6月までに完了させる予定です。今後も、グループの総力を挙げて技術力を結集し、被災地の早期復興に貢献してまいります。



商社事業

▶▶ Trading Business

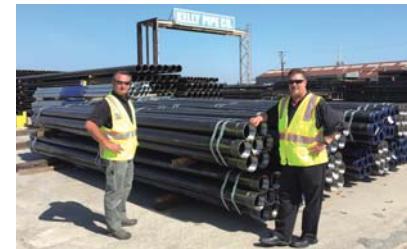
JFE商事株式会社

■ 売上高 …………… 1兆9,344億円

■ 経常利益 …………… 246億円

TOPICS 01 米国鋼管問屋Kelly Pipe社を買収

昨年12月、JFE商事(株)は、米国鋼管問屋Kelly Pipe社を買収し、持続的な成長が期待される北米地域の鋼管流通分野へ参入します。今後は、全米に広がる同社の販売網とバランスの取れた製品群によって得られる収益を確保していくとともに、JFE商事グループのトレード機能とネットワークを活用し、シナジー効果の発揮および収益拡大に取り組んでまいります。



ジャパン マリンユナイテッド(株)

最新鋭の超大型原油タンカー (VLCC) “ENEOS OCEAN” を引き渡し

本船は、ジャパン マリンユナイテッド(株)の最新鋭VLCCシリーズの一番船です。国内の港湾規制緩和を先取りし全長を長くするとともに、最新の解析技術を用いて最適な船体形状を追求しました。また、船尾には独自開発した各種省エネデバイス、主機関には最新鋭の電子制御エンジンを採用するなど、経済性と環境保護にも優れたエコシップです。



CSR関連トピック

2年連続「なでしこ銘柄」に選定

JFEグループは、「ダイバーシティの推進」を重要課題と位置付けており、女性社員の積極的な採用に加えて、女性がより活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。その取り組みが評価され、経済産業省と東京証券取引所が女性活躍推進に優れた企業を紹介する「なでしこ銘柄」に、2年連続で選定されました。今後も女性をはじめ、多様な人材がより活躍できるよう、様々な取り組みを進めてまいります。



平成27年度 工場見学会のご案内 (募集要項)

株主の皆様当社へのご理解を一層深めていただけるよう、引き続き工場見学会ならびに会社概況説明会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

対象者

平成27年3月31日現在、当社株式100株以上をご所有の株主様(同伴者1名まで可)
※お子様の同伴は小学生以上とさせていただきます。

締切日

平成27年7月17日(金)
(当日消印有効)

募集人数

■JFEスチール(株)
東日本製鉄所(千葉地区):各回135名様
(京浜地区):各回135名様
西日本製鉄所(倉敷地区):各回120名様
(福山地区):各回120名様
知多製造所:各回60名様

応募方法

同封のはがきをご返送いただくか、
当社ホームページ
(アドレス<http://www.jfe-holdings.co.jp/>)
からご応募ください。

参加費

無料
(但し、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。)

■JFEエンジニアリング(株)
リサイクル工場(京浜地区):各回60名様

■JFEエンジニアリング(株)
■ジャパン マリンユナイテッド(株)
(津地区):各回60名様
(舞鶴地区):60名様
※舞鶴地区はジャパン マリンユナイテッド(株)のみ
※人数には同伴者を含みます。

お問合せ先(工場見学会専用)

JFEホールディングス(株)株主名簿管理人
みずほ信託銀行(株)証券代行部

☎ 0120-300-676 [9:00~17:00]
(土・日、祝祭日を除く)

※お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

抽選結果につきましては、別途ご連絡(平成27年9月上旬頃)させていただきます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

※お申込みの際に、記載事項にもれ等の不備がございます場合、無効とさせていただきますのでご承知おきください。

工場見学会の概要

■JFEスチール(株)東日本製鉄所

実施日時

(千葉地区)
申込番号① 平成27年11月18日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号② 平成27年11月18日(水) 13:30頃~16:30頃
申込番号③ 平成27年11月28日(土) 9:00頃~12:00頃
申込番号④ 平成27年11月28日(土) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑤ 平成27年12月2日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑥ 平成27年12月2日(水) 13:30頃~16:30頃

(京浜地区)
申込番号⑦ 平成27年10月6日(火) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑧ 平成27年10月6日(火) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑨ 平成27年10月14日(水) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑩ 平成27年10月14日(水) 13:30頃~16:30頃
申込番号⑪ 平成27年11月21日(土) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑫ 平成27年11月21日(土) 13:30頃~16:30頃

集合場所 (千葉地区) JR千葉駅周辺
解散場所 (京浜地区) JR川崎駅周辺

■JFEスチール(株)西日本製鉄所

実施日時

(倉敷地区)
申込番号⑬ 平成28年2月6日(土) 9:00頃~12:30頃
申込番号⑭ 平成28年2月6日(土) 13:30頃~17:00頃

(福山地区)
申込番号⑮ 平成28年2月5日(金) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑯ 平成28年2月5日(金) 13:30頃~16:30頃

集合場所 (倉敷地区) JR新倉敷駅北口 または
西日本製鉄所倉敷地区(駐車場あり)
解散場所 (福山地区) JR福山駅北口 または
西日本製鉄所福山地区(駐車場あり)

■JFEスチール(株)知多製造所

実施日時

申込番号⑰ 平成28年2月19日(金) 9:00頃~12:30頃
申込番号⑱ 平成28年2月19日(金) 13:30頃~17:00頃

集合場所 名鉄知多半田駅東口
解散場所

■JFEエンジニアリング(株)リサイクル工場

実施日時

(京浜地区)
申込番号⑲ 平成27年10月22日(木) 9:00頃~12:00頃
申込番号⑳ 平成27年10月22日(木) 13:30頃~16:30頃
申込番号㉑ 平成27年12月8日(火) 9:00頃~12:00頃
申込番号㉒ 平成27年12月8日(火) 13:30頃~16:30頃

集合場所 JR川崎駅周辺
解散場所

■JFEエンジニアリング(株)
■ジャパン マリンユナイテッド(株)

実施日時

(津地区)
申込番号㉓ 平成27年11月12日(木) 10:30頃~15:00頃
申込番号㉔ 平成27年11月12日(木) 12:00頃~16:30頃
申込番号㉕ 平成27年11月13日(金) 10:30頃~15:00頃
申込番号㉖ 平成27年11月13日(金) 12:00頃~16:30頃

(舞鶴地区)(ジャパン マリンユナイテッド(株)のみ)
申込番号㉗ 平成28年3月3日(木) 11:30頃~16:00頃

集合場所 (津地区) 近鉄久居駅東口
解散場所 (舞鶴地区) JR東舞鶴駅 または 舞鶴事業所
※舞鶴地区はジャパン マリンユナイテッド(株)のみ

見学にお越しいただくことが確定した株主様へは、別途詳細をご案内申し上げます。
天候等の事由により、見学会の延期・中止、またはご見学内容の変更等が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会実施のほか議決権行使に関するご案内や、株主様向けの活動充実のために使用させていただきます場合がございます。